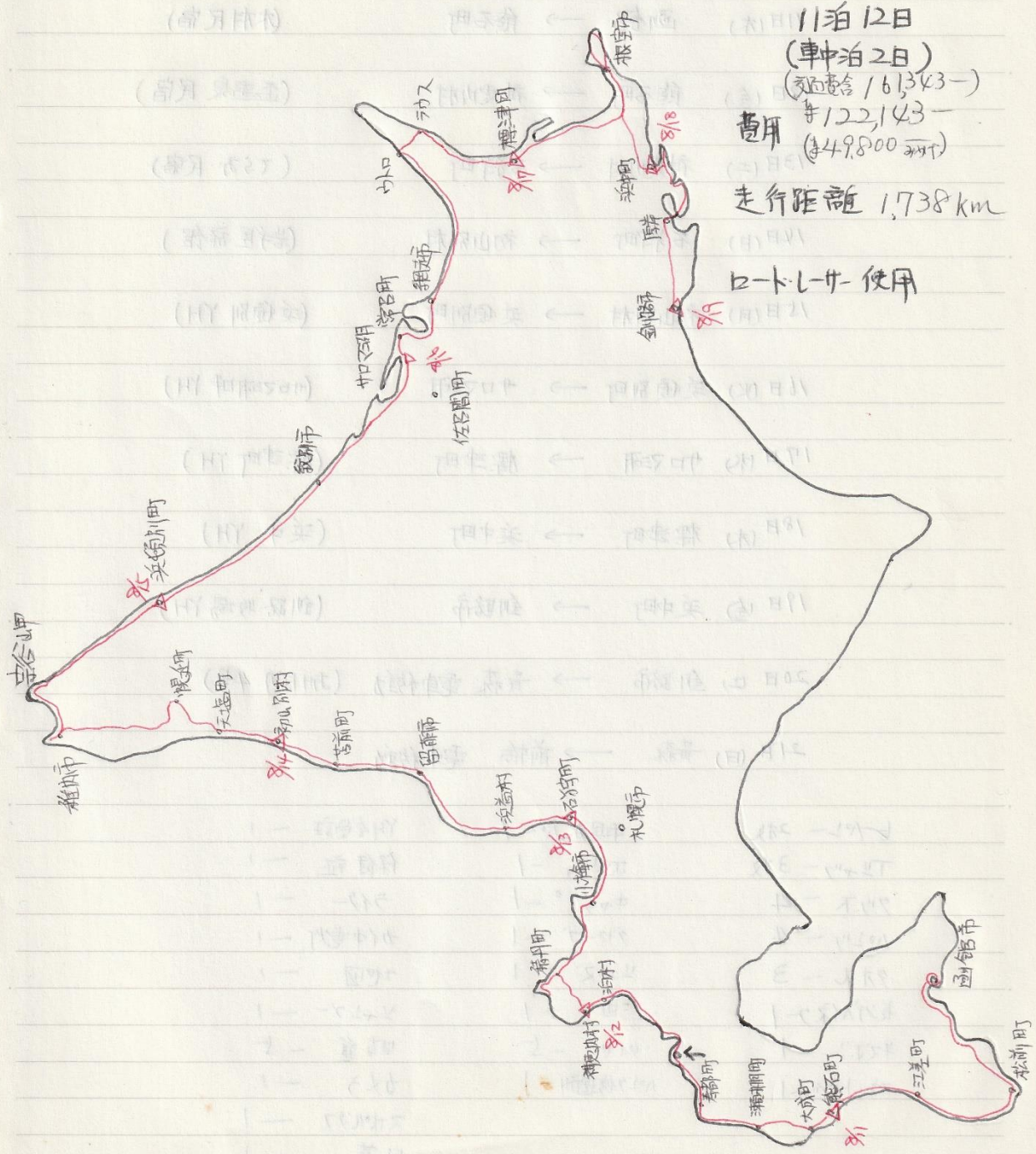


北海道 (函館~稚内~釧路)

1988年 8月 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21日



 ** チャリンコ旅日記 No.14 **
 ** Resistance Of My Mind 19920115 **

【 1988年8/10日から8/21日 函館市 から 稚内市 から 釧路市 1738Km 】

【8月10日（水）】 曇り 走行距離 0 Km
 新前橋駅 → 東京 → 函館市 走行時間 0分

17:26	新前橋駅	出る	
:34	高崎駅	着	特急券 ¥2100-
:44	〃	出る	ジュース ¥300-
18:32	上野駅	着	雑誌 ¥200-
19:03	〃	出る	寝台特急北斗星5号 弁当 ¥600-

ついに今年の夏は、北海道に踏み込む事が出来る。昨年の夏、北海道の予定を立てて旅券の手配もして2日前に航空券が取れたのに、旅行を中止して仕事をしていた。今年こそはと思って、1か月前にJRに勤める友人に旅券の依頼をした。行きの函館までは電車。帰りの稚内から飛行機。でもすでに予約はいっぱいで、電車は取れたが飛行機は無理。7月下旬、北海道をどう攻めるか考えていた。休日出勤をして、8月の一週間の休みに3日間の代休をつなげて11日間休む。そして、函館から稚内を経由して一気に北海道を一周しようと思った。毎晩、仕事から帰っては地図で走り方を考えていた。どう考えても、1日300Kmの走行が必要になる。普通に走ったら、釧路までしか行けない。7月末、係長に今回の旅行の説明をして8月の連休に3日間の休みを繋げる事が出来た。さっそく、JRの友人に連絡して、8月20日に函館から帰る電車の手配をしてもらい、夏休みの計画は決まった。

旅立ちのは、8月10日夕方17時26分、新前橋駅から始まる。しかし、17時に仕事を終えてから26分間で新前橋駅へ行き自転車を分解して電車に乗り込む事は無理。いろいろ考えたが、出発の数日前の朝、トイレの中で結論が出た。当日の夕方、兄キにすでに分解した自転車と旅行の荷物を持って、新前橋駅前で待っていてもらう事にした。

8月10日、私は仕事も手に付かず、平静を装い時の経つのを待った。時折、窓から曇り空を見上げては、雨の心配をしていた。17時、長い1日の仕事を終えて、急いで駅へ自転車で向かった。10分前に駅に着き、駅前で待っていてくれた兄キから荷物を受け取って、北海道の旅、一人ぼっちのツールド北海道が始まった。

【8月11日(木)】 曇り/晴/曇り

走行距離 208Km

函館駅 → 木古内町 → 松前町 →
→ 上ノ国町 → 江差町 → 熊石町

走行時間 9時57分

6:38	函館駅 着	ウトン、イリ	¥420-	13:41	石国 休み	ミカカヅメ、ジュース	¥220-
	曇り	おきり		57	出る	気力低下	
7:35	出る	ジュース	¥100-	14:45	上の国駅	曇り	
8:27	茂辺地 休み	ハソ	¥260-	15:00	江差町		
40	出る	ジュース		06	休み	165Km	
9:10	木古内			10	出る		
30	知内	道が濡れてる	小雨	31	休み	ハソ、牛乳	¥330-
54	休み	59Km	栄養剤 ¥230-	44	出る		
10:10	出る	ハソ		16:00	己部町		
11:35	松前町			30	豊浜トンネル	1270m	
54	休み	ジュース	¥530-	17:06	熊石町		
12:08	出る 晴	ハソ		32	木村民宿 着	リポビタン	¥690-
13:06	小砂子 休み	ジュース	¥150-		曇り	カンヅメ、ジュース	¥570-
20	出る	アイ				民宿	¥4300-

寝台特急北斗星での夜は、八甲田と比べて段違い。初めての寝台車だった。夜が明けて車窓から見える景色は鉛色に沈み、私に非協力的だった。いよいよ今日から、自転車で走り始めるというのに、初日から心に枷をはめられた様だ。今年春に開通した青函トンネルを通り、北海道、函館に到着。駅構内の食堂で朝食をとり、駅前で記念撮影。雨が降り出しそうな曇り空の下、自転車でまたがり松前へ向けてスタート。

2時間程走った木古内辺りから路面が濡れていて、次第に霧雨になってきた。林に囲まれた道路は余計に暗く、先行きの不安をつのらせる。途中、小さなお店を見つけて休憩する。

松前町に近づく頃には、海岸沿いを走る様になり、天気が回復して弱い日差しが射す様になった。松前を過ぎて午後になると、疲れの為か、休みが多くなった。北へ向かうアップダウンの海岸沿いの道を、重い荷物を背負って走る気力も薄らいで行く。

江差町の手前の、上の国駅の手前の、川に掛かる橋の名前がいかしていた。その名は、「天の川橋」。しかし、名前のイメージと町並みがマッチしない。熊石町に着いてから見つけた民宿に何とか泊めてもらう。偶然、途中で行き逢った自転車の老人と同宿し、楽しい夕食のひとつきをすごした。

一日300Kmの目標が、初日にして崩れさった。でも、一日200Km走らなくては、釧路ま

でも行けなくなってしまう。内心、予定通り釧路を目指していた。

【8月12日(金)】 雨/曇り

走行距離 189Km

熊石町 → 大成町 → 瀬棚町 →
→ 寿都町 → 岩内町 → 泊村

走行時間 10時45分

4:26	起床	雨降り		12:00	寿都町	
5:25	木村民宿	出る	カッパ着る	05	休み	中華どん ¥600-
6:16	大成町	宮野C	ハッソジューズ	37	出る	雨上がり
33	出る	曇り	カヅメ ¥320-	14:40	休み	ジューズ ¥100-
58	檜山トンネル	降雨		45	出る	
7:00	出る			15:41	泊村	ハッソ ¥100-
52	北檜山駅	栄養剤	¥130-	46	出る	
8:00	出る			16:10	釜温泉 民宿	ジューズ ¥200-
9:00	茂津多トンネル	1974m			宿泊	¥5200-
10	出る	雨上がり	72Km			
10:12	島牧	向かい風強い				
24	出る	ハッソジューズ	¥200-			

布団の中で、雨音を気にしながら寝ていた為か、夢の中でも雨の中を出発する光景が出てきた。目覚めたとき、確かに雨。2日目にして、雨の洗礼を受ける。旅行の前から、雨が降っても走るつもりで、高価な雨具を持ってきてあった。リュックをビニールで包んで、カッパの上着を着て、下はレーパン（自転車競技用の半ズボン）。雨の降る中、朝早くに出発する。すぐに、足や靴はびしょ濡れになり、気にならなくなる。カッパの中は、汗で濡れて冷たい。鼻水を手鼻でかんだり、雨を恨んだりしながら、雨から顔を背けがちに自転車を走らせる。

瀬棚町からは、海沿いのトンネルの多い道。そして、島牧を過ぎると強い風雨に晒される様になった。左に海、右に山。その境をアップダウンの道が走る。やっと坂を登って下りに入ると強い向かい風が吹き付けて来て、自転車ごと押し倒されそうになる。ハンドルをしっかりと握って風に対抗する。後ろから車が来るときは、必死の思いだ。海上を白いペールがこちらに向かって押し寄せてきては、途中で消えてしまう。そして、山手の笹の葉がざわめき出すと間もなく、強い風が吹いてくる。走っている内に、風のリズムが解ってきたが、寿都町の手前、弁慶岬付近でもものすごい強風が吹いてきて、自転車が一時止まってしまった。そして、前輪を側溝に落としてしまった。とても自転車に乗ったまま走れない。それから10分位、自転車を押して歩いて行った。目の前に、寿都の町が見えているのに、長い道のりだった。雨と強風の中、野ら犬になった様だった

宿泊は、原子力発電に揺れる泊村で、民宿を探した。夕食は豪華で、ビールを飲みながら、今日

の疲れを癒していた。

【8月13日(土)】 曇り／晴／曇り

走行距離 187Km

泊村 → 神恵内村 → 積丹町 →
→ 余市町 → 小樽市 → 石狩町

走行時間 11時02分

4:30	起床	10:03	野塚	ハッパジュース
5:39	温泉民宿岩田 出る	17	出る	カンヅメ ¥450-
6:00	神恵内 2重の虹	11:03	美国	
7:08	当丸峠 道道998号	22	古平 浜街十字街C	アイス
16	出る	34	出る	牛乳 ¥150-
49	古平 浜町十字街C	12:23	余市駅	
8:10	出る 牛乳、カンヅメ ¥670-	44	休み	アイス、ジュース ¥150-
52	休み	53	出る	
55	出る	13:34	小樽運河	136Km
9:29	余別 ジュース ¥100-	14:00	出る	
32	出る	19	休み	ジュース、ハッパ ¥320-
39	神威岬	25	出る	
42	出る	15:14	銭函駅	トイレ
		20	出る	
		16:41	石狩町 民宿てらお	¥2500-
			夕食	¥1500-

泊村の小さな入り江にある盃温泉の、ある民宿で目覚めた。夜中の強風と雨の不安とで、今朝目覚めたら、胃が痛くて気持ちが悪くて、走る気にならない。家に帰ろうと思っていた。外は、雨が上がり、曇り空。とにかく、我慢して走り出す。

民宿を出発しても、気が乗らずスピードも乗らない。行く手の神恵内村の海上に、小さな晴れ間が見えだし、晴れ間が広くなるに連れて、虹が見えだしてきた。そして虹は、2重のはっきりした虹に変わって行った。幸運の虹を信じたら、急に元気になってきた。

神恵内から1時間余りで、当丸峠に着き、ここを下ったら暑いほどに晴れていた。古平から神威岬へは、真夏の青空の下、神威岳の麓の高原を走り抜ける。海辺では、海水浴客が多い。同じ道を古平に戻って小樽へ向かう。午後、小樽の手前でにわか雨に降られるが、すぐに止んだ。

小樽運河を自転車を押して散策する。今日の宿泊地、石狩町方面は真っ黒な雲に覆われている。草原に囲まれた道道231号を、北上する。途中、石狩町役場で民宿を紹介してもらい、そこで一晩泊まることにする。そこは、殆ど普通の民家に泊めさせてもらった様な民宿だった。

【8月14日(日)】 霧/晴

走行距離 203Km

石狩町 → 厚田村 → 浜益村 → 増毛町 → 走行時間 10時50分
→ 留萌市 → 苫前町 → 羽幌町 → 初山別村

5:55	石狩町 出る 晴	11:04	増毛町 牛乳 ¥390-
7:07	厚田村 霧 ジュース ¥100-	19	出る ジュース、カンヅメ
12	出る	12:12	留萌駅 ウッド、お土産
8:07	送毛トンネル 1901m 晴	45	出る ジュース ¥420-
	かがり山のトンネル 構内工事中	13:46	鯨番屋 旧花田屋番屋
11	出る	58	出る ジュース ¥100-
28	浜益村 パン、ジュース ¥320-	14:55	苫前町 曇り ジュース ¥100-
38	出る	15:05	出る
9:33	雄冬 アイ ¥50-	22	羽幌町 アイ ¥50-
40	出る	43	出る
10:05	休み 水がなくなる	16:45	初山別村
10	出る		岩手屋旅館 ¥4000-
28	休み かいと岬の岬		ジュース、かん、カンヅメ ¥630-
31	出る		

石狩町の民宿で、一人寂しく出発の準備をする。昨日買った、ゆで小豆の缶詰・密豆・パンを食べて朝食にする。天気は晴。北の台地に黒雲が横たわっていて不安だ。予想通り、次第に霧になり、眼鏡が水滴で曇る様になった。バイクのツーリストが、道路脇でカップを着ている光景が目につく。トンネルの多い道を、留萌へ向かう。そして増毛町の手前、カムイエト岬の上の峠越えはひどかった。天気は殆ど快晴で、青い空。日差しが強くて体がじりじり焼かれている感じがする。そんな中での峠越え。私は、峠があるなんて思っていなかった。すでにボトルの水は空。道はなおも上り続け、もう終わるだろうと思いつながら走り続けても、なかなか峠に着かない。汗が目にはみても痛い。上りの途中で一回休んで、やっと峠にたどり着く。せっかく上った峠をあっけなく下り、一気に増毛の街に入った。

北海道の道は、長いアップダウンがだらだらと続く。海を眺めながら、北を目指す。しかし、荷物は、次第に重さを増し、お尻が痛くなってきた。羽幌町に着いたとき、ここで今日は終わりにしようと思ったが、がんばって、更に20Km北にある初山別村へ向かった。

初山別町は、ちょうど盆祭りのときで夜、近くの学校で祭をしていた。民宿の様な旅館のおばあちゃんは親切で、洗濯までしてくれた。夜は、メロン、とりたてのエビやウニをサービスしてくれ

た。夜中に、目覚めては、殺虫剤で蚊を追いかけていた。

【8月15日(月)】 曇り/晴

走行距離 219Km

初山別村 → 天塩町 → 豊富町 →
→ 稚内市 → 宗谷岬 → 浜頓別町

走行時間 12時30分

4:50	旅館 出る	曇り	12:45	宗谷岬	みやげ	¥12000-
5:49	遠別町		13:30	出る	ジュース	¥520-
57	出る	晴	14:35	休み	ジュース	¥100-
6:45	天塩町		43	出る		
7:05	休み	ジュース	¥90-	15:12	猿払公園	インディゴ号
12	出る				遭難者慰霊碑	
8:22	豊富町	バス	ジュース	¥360-	ホタテ化石群	
35	出る	牛乳				
9:47	サラキトナイ	曇り	20	出る		
56	出る	ジュース	¥100-	16:54	浜頓別駅	バス
10:45	稚内駅	カニどん	¥850-	59	出る	牛乳
11:10	出る	119Km		17:20	YH着	YH
						¥2700-

今日は、日本の最北端に立つ予定。お世話になった旅館を早朝に出発。何処までもまっすぐなアップダウンの一本道を北へ向かう。道の両わきは、広大な畑。時折あるバス待ち合い所の入り口で、バイクの出発準備をしている人を見かける。一晩、バス停にお世話になったのだろう。走る車は少なく、人通りも少ないこんな道に、何故立派な歩道があるのだろうか？歩道を作るより、その分道幅を広げた方が、安全で安上がりなのに。自転車で各地を走っていると、道路の悪さが目に付く。

曇り空が次第に晴に変わり天塩町に入った。そろそろ朝食にしようと思い、店を探したがまだ開店してない。しかたなく、そのまま走る。天塩町の北には、広大なサロベツ原野が広がっている。見渡す限り牧草地。サイロ付きの牛舎が点々とある。出発してから2時間。休みたいと思っても、辺りには店がない。日に焼かれながら、店を探しながら稚内を目指す。ある牧場の入り口に一台の自動販売機。思わず走り寄って覗いてみる。なんとか動いているようだ。天塩町から豊富町までの35Kmの間に自動販売機が、たった一台あっただけ。

サロベツ原野を走るR40を通過して稚内に付いたのは、10時45分。いよいよ北の地にやってきた。そして、宗谷岬。日本最北端の地を表す三角形のモニュメントが建ち、観光客で賑わっていた。ここから一転して、日本海からオホーツク海へ、そして南下する旅になる。

海沿いの道に沿って内陸側には、10m位の小高い丘が続く。お尻の痛みと疲労に耐えながら浜頓別へ。浜頓別YHは、のどかな所で満員。その夜、北の台地でゆっくり星を眺めて過ごす。旅の

半分か終わり、北海道一周は出来ない事を理解していた。ゴールは、釧路市。

【8月16日(火)】 快晴/霧

走行距離 205 Km

浜頓別町 → 枝幸町 → 雄武町 →

走行時間 12時00分

→ 興部町 → 紋別市 → 湧別町 → 浜サロマ

4:15	起床	12:09	紋別駅	カレー ¥450-
5:00	浜頓別 YH 出る	50	出る	
6:31	枝幸町 ジュース ¥100-	13:29	休み	バス停で昼寝
37	出る	14:13	出る	快晴
44	休み パン、ジュース ¥300-	40	休み	日焼けが痛い
52	出る	50	出る	
8:16	音標 パン、カツメ ¥300-	56	湧別町	
27	出る	15:37	休み	ジュース ¥100-
9:26	雄武町 リトビタン ¥230-	45	出る	
30	出る	17:00	浜サロマ	
46	休み バス停で休む			YH ¥2800-
10:05	出る 快晴			牛乳、パン、ジュース ¥560-
11:22	渚骨 オムサロ原生花園			
43	出る			濃霧で夕陽は見えない

昨夜の楽しい思い出を胸に、もう逢うことのない人、来る事もないだろう YH を後にする。右手に 10m 位の丘陵、左手にオホーツク海。道端には、名も知らぬ花が咲いている。何故か今日は、夢の中を走っている様で、快晴なのに目の前が、白く黄色くぼやけている。夢心地でサイドラインを、ぼんやり見つめて走っている。セピア色の景色の断片が、うつろに見えかくれする。ああ、俺は今走っているんだなあ。

途中、実用自転車で日本一周の看板を掲げたおじいさんを励まして抜き去る。おじいさんまでも、自転車で夢を追いかけている。俺も頑張らなくては。息抜きに、原生花園を見て、紋別に着いたのは、お昼。昼食を終えて 30 分程走って、またバス停に入る。もう走る気力がなかった。重いリュックを枕に気持ち良く寝てしまった。40 分位寝たろうか、目が覚めたら外がやけにまぶしい。頭の中がぼやけたまま、すぐに走り出した。

日差しが強く、肌が痛い。これほどの快晴が、サロマに入ると霧が出始め、すっかり太陽が見えなくなってしまった。YH に予約をする為に立ち寄った YH の近くの飲み屋で、一晩泊めてくれると言うが、YH に泊まる。サロマ湖畔に建つ白亜の綺麗な YH。サロマ湖に沈む夕陽は綺麗なそうだが、残念ながら霧で見ることができなかった。

【8月17日(水)】 霧/晴/曇り

走行距離 215Km

浜サロマ → 常呂町 → 網走市 → 小清水町 → 走行時間 11時41分
→ 斜里町 → 宇登呂 → 羅臼町 → 標津町

4:30	起床	ジューズ	¥100-	11:27	オシンコシンの滝
5:17	サロマYH	出る		36	出る
34	常呂町			54	宇登呂
6:15	能取湖	背中がかゆい			ハッ、ジューズ ¥198-
19	出る			12:06	出る
7:20	網走駅	ハッ、ジューズ ¥340-		13:18	知床峠 738m
35	出る	入場券		30	出る
8:28	小清水原生花園	霧		14:00	ラウス ファイル、アイス ¥840-
43	出る			08	出る
9:52	斜里町	曇り カップ脱ぐ		15:10	休み ジューズ ¥100-
10:00	出る			15	出る
17	休み	ジューズ 弁当 ¥430-		16:43	標津駅
24	出る				ハッ ¥345-
				58	標津YH ¥2800-

サロマ湖は私に、夕陽も朝日さえも見せてはくれなかった。でも、素敵なYH、出合だった。曇り空の下、網走へ向かう。自転車で走り始めて、今日で7日目。走っていて、お尻が痛い。最初は平気だったが、日経つに連れて、お尻が痛み出す時間が早まっている。それに、背中がやけに痒い。走りながら背中を搔くと皮が剥ける様に垢が取れた。リュックを背負っている為に背中は、何時も汗で濡れていて汗もが出来たらしい。毎日お風呂には入っていたのに。

網走駅前には、木彫りのニポポが立っている。ここを出たら霧雨が降り出し、カップを着る。知床の入り口、宇登呂に着いたのはお昼。近くのスーパーでパンを買い、知床峠への挑戦を始めた。峠を上り始めたら霧が深くなり、雨が降りそう。霧の中から、3、4人のサイクリストがカップに包まれて下ってくる。この分だと峠は雨だろうなあ、と思いながら、ゆっくりゆっくり上って行く。しばらく走ると、霧の向こうに微かに青空が覗いた。それは、進につれ広がりをもち始め、いつのまにか霧の中から抜け出していた。羅臼岳が真っ青な空にくっきりと見える。自転車を降りて後ろを振り返ると、厚く霧が漂っている。知床連山の北側は厚い雲に覆われ、南側は快晴。1時間程で宇登呂から知床峠までたどり着き、気分最高。しかし、北方領土はもやにまぎれて見る事が出来なかった。

【8月18日(木)】 曇り/霧

走行距離 205Km

標津町 → 尾岱沼 → 厚床 → 根室市 →
→ 納沙布岬 → 根室市 → 厚床 → 浜中

走行時間 11時13分

4:05	起床	10:07	休み ハン牛乳 ¥160-
5:02	標津YH 出る 曇り 寒い	24	出る 霧
53	北方展望台	11:13	納沙布岬 カミヤ、カニシ ¥600-
6:02	出る ジェス ¥100-		平和の塔
7:12	休み 原野の中	55	出る 霧
17	出る	14:35	厚床 ハン牛乳 ¥150-
35	奥行白 店	44	出る
39	出る	15:45	浜中駅 ハン ¥300-
8:12	厚床 ハン牛乳 ¥160-	16:02	出る
19	出る	15	浜中YH 着 ¥3250- 霧
9:55	根室駅		

一日中曇りだった。標津の朝は肌寒く、カッパを着て走っていた。野付の北方展望台から海沿いに走って別海。風連湖を廻って厚床までの間、およそ2時間は、奥行白の交差点にたった1軒のお店があっただけ。周囲は見渡す限りの原野。車の通りもありなく、道を間違えているのではないかと不安になる。でも、道路標識は、私を根室へと導いてくれた。根室から納沙布岬は、霧が深い。せっかく岬から、北方領土を見ようと思ったのに、見る事が出来なかった。択捉島・国後島・色丹島・歯舞諸島(志発島・水晶島・勇留島・秋勇留島・多楽島)。岬のシンボル、平和の塔さえも霧に煙っていた。夏の道東は霧が多いらしい。

納沙布岬から根室・浜中への道のりは、疲れて自転車で走るのが辛かった。疲れたというよりは、お尻が痛くて、自転車にまたがっているのが辛かった。サドルの上にタオルをたたんで敷いて走ったりもした。

憧れの地、浜中には16時頃着いた。今から15年も前の私が中学3年の夏休み、徹子の部屋というテレビ番組で初めて畑正憲さんを知って以来、ムツゴロウ動物王国のファンになっていた。そして、私もそこで働いてみたい、行ってみたいと思っていた。そんな浜中町は、小さな町で浜中YHに着く頃には、霧に包まれようとしていた。

YHの近くに動物王国があるという。YHの二階、集会室の窓際に腰掛けて霧に煙る景色を眺めながら、苦しかった一日を回想する。そんな時私は、浜中の住人になっていた。今、ムツゴロウ動物王国のそばにいる事が嬉しかった。ほんの一晚、心行くまでこの地を味わいたかった。

【8月19日(金)】 霧/雨/曇り

走行距離 107Km

浜中町 → 霧多布町 → 厚岸町 → 釧路市

走行時間 6時10分

4:30	起床 霧	12:23	厚岸駅 土砂降り
	ムツゴロウ動物王国へ	50	出る ジュース ¥100-
	犬のヒロ子と散歩	14:40	釧路駅
8:50	浜中YH 出る 霧雨	15:00	YH着 ¥2800-
9:28	霧多布岬		ジュース ¥100-
10:00	出る		
22	コーヒーハウス展望台		
46	出る コーヒー ¥1000-		

今日は、今回の旅の最後の走りの日。終着の釧路までは、半日で行けそうなので、のんびりした朝を過ごす。目覚めて5時前、動物王国まで行こうと思って玄関へ出たら、YHの犬のヒロ子が待っていて、彼女に案内されて一緒に動物王国へ散歩に出かける。相変わらず霧の深い朝。YHの横の道を海岸まで下り、突き当たりを左に曲がるとトンネルがある。トンネルを抜けると道は左にカーブを始め右手に丘に向かうバラス道がある。そのバラス道を上り詰めると動物王国がある。昨夜のミーティングで聞いた通りに歩く。丘の下の方では、昆布干しをしている。途中、10頭程馬が群れていて、柵に近づくとこちらに寄ってきた。更に進め、王国の門にたどり着いた。私が、長い間イメージしていた風景とは違ったが、写真で見た景色を見つけると嬉しかった。門から覗く王国は、霧で建物が霞んでいた。しかし、その中からは、朝の食事のせわしさが、犬や馬の鳴き声・人の声・物音から感じられる。ゲートの向こうの霧の中には、私には見る事の出来ない夢の世界がある。でも、その前にたどり着いただけで、私は幸せな人かもしれない。

王国の帰り道、ヒロ子はすっかり疲れた様子で、彼女を気遣いながら歩く。YHでは、すでに朝食が始まっていた。ゆっくり朝食を取るの、今回の旅で初めて。YHの玄関前で記念撮影。十数人に見送られて出発したが、すぐに雨になった。

霧多布岬は、珍しい鳥エトピリカを見る事ができる岬。霧雨の中、霧笛発信所のわきを通って、岬へ行って見た。紫のスズランの様な花の咲く丘の先は、断崖。海猫が舞っている。エトピリカを見る事はできなかった。地響きを立てて鳴り響く霧笛が、体の中まで響き渡った霧多布岬。

上半身だけカッパを着て釧路へ向かう。雨は、厚岸町に近づくにつれ激しくなり、自転車に乗っているのに、水泳をして溺れている感じ。こんな中を走っていて、病気になる自分に関心する。雨は、釧路の手前で上がって陽が射し始めた。足元は、はねで真っ黒。釧路のまきばYHに着いた時、中に入るのに自分ながら気が引けた。すぐに風呂に入れさせてもらい、旅の垢を落とす。

【8月20日(土)・21(日)】

晴

走行距離 0Km

釧路市 → 千歳市 → 函館市 → 青森市 → 走行時間 0分
→ 青森市 → 大宮市 → 高崎市 → 前橋市

5:05	YH出る	20:16	青森駅 出る
7:47	釧路駅 出る	0:37	横手市
	特急あおぞら4号	5:06	福島市
	釧路 ~ 函館 ¥12900-	6:58	黒磯市
	カー、ト、ナツ、ジ、ユース ¥1200-	8:48	大宮駅 着
	みやげ ¥5000-	56	出る 新幹線 ¥1700-
12:05	千歳駅 着	9:28	高崎駅 着 ヲ川 ¥300-
08	出る 乗換	46	出る
15:21	函館駅 着	10:00	前橋駅 バス ¥210-
17:19	函館駅 出る 海峡14号		
	みやげ ¥30800-		
	食事、ビール ¥1260-		
19:41	青森駅 着 みやげ ¥2000-		
	弁当 ¥1100-		
20:16	出る		
	寝台特急あけぼの4号		

釧路から函館までなんとか電車で帰らねばならない。その先は、旅券が用意してある。朝5時にYHを歩いて出て、釧路駅で2時間並んで待つつもりで駅に着いた。まだ誰もいない。改札をするときには、長蛇の列。早く来て良かった。おかげで、電車でゆっくり座っていただける。自転車も昨日の内に宅急便で送ってある。カセットを聞きながら、景色をぼんやりみつめながら、今回の旅を回想している。12日間の長い旅も、あつという間に終わってしまった。11日から19日までの9日間を、朝から夕方まで走り続けていた事が夢の様だ。それも、最初の4、5日は良かったが後の日は、疲れてしまっていて気力で走っていた。

北海道一周を予定したが、結局、釧路までしか走れなかった。1日300Km走る事はとても出来ない。計画段階で、安全策として1日200Kmの予定も立てておいたが、結局その通りになってしまった。でも、また来年ここに来ることが出来る。夢を一度で終わりにしないで、来年への希望を残したことは素敵な事だ。

真っ黒に日焼けした髭面の私は、アイヌのおじさんの様だった。この髭も明日には剃り落とす。

0813

神恵内村

早朝



神恵内村～古平町を結ぶ峠

0813
神威岬
を望む



0813
美国町

0813
積丹岳の麓





0813

小



運
河





0815
稚内駅

0815
宗谷岬

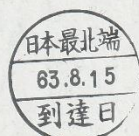


0815
日本最北端の地



日本最北端到着証明

本日あなたは北緯45度31分日本最北端の地、宗谷岬に到着し、その足跡を印したことを証明いたします。



稚内観光



08/5
浜頓別YH



⇒ホルスタイン／緑の草原にのんびりとした牛の姿をみる。北海道ならではの、優雅で贅沢な光景だ。サロマの牛たちは、悠々自適の暮らしぶり。大自然を思いきり楽しんでいる様子だ。そして、驚くなかれ、サロマは人の数よりも牛の数の方が多いのだ。そう、まさに牛天国。自然に抱かれ、人に大切にされている牛は、本当に幸福者というわけである。



クッチャロ湖





0816

オムサロ 原生花園



↑エゾカンゾウ／黄色の優しい色あい、別名エゾゼンティカと呼ばれるエゾカンゾウは、湿地帯によく見られ、初夏になると、いっせいに1本の茎から5～6個の花を咲かせます。



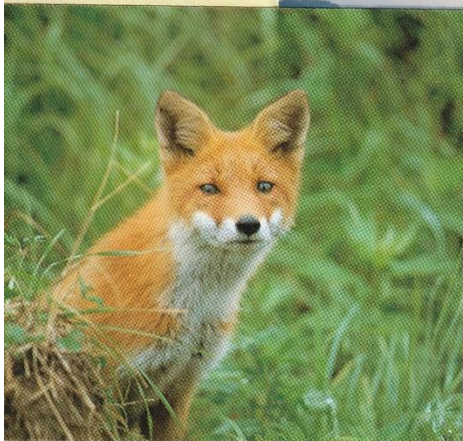
↑ヒオウギアヤメ／葉が扇形に重なり合っていることからその名のついたヒオウギアヤメ。湿地帯を中心に群生していて、6月下旬から7月にかけて青紫色の気品高き美しい花を咲かせます。



↑センダイハギ／茎の高さは1mほどにもなり、6月から7月頃にかけて蝶形をした深黄色の花をつける。サロマ周辺の草原や放牧地に広く群生している。

0817

小清水
原生花園



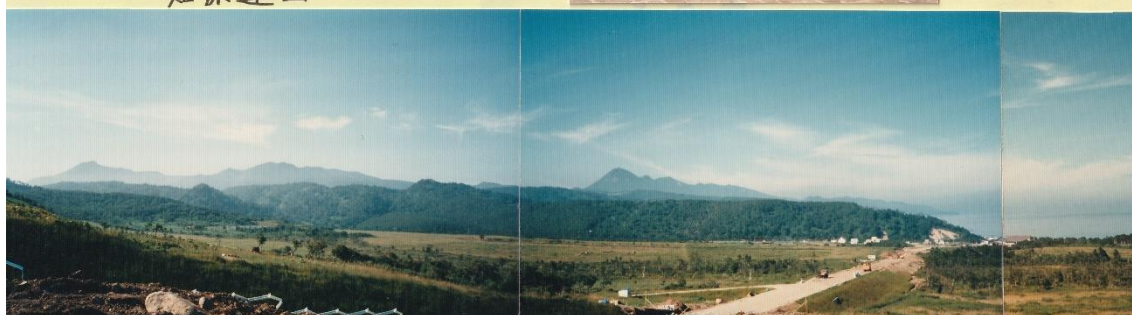
羅臼岳 (1661m)



知床連山

0817

知床峠



0818

納沙布岬

エトロフ 択捉島

カシリ 国後島

シコタン 色丹島

ハボマイ 歯舞諸島

シボツ 志太島

水島 島

ユリ 勇留島

フキ 秋勇留島

多楽島

「四島のかり橋」



北方展望台

北方四島返還

「ロビ」の像



平和の塔

0819
霧多布岬





0818
浜中駅



0819



浜中YH



0819
あしがのり
ムツゴロウ
動物王国

浜中YHの老犬
ヒロ子と散歩





0811(木)



0813(土)



0815(月)

0814(日)

0816(火)





0817(水)



0817(木)



0818(木)

0819(金)



0819(金)